

平成30年

平成30年9月1日発行

独立行政法人 国立病院機構 🚽



呉医療センター・中国がんセンター 地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070

URL http://www.kure-nh.go.jp/ E-mail renkei@kure-nh.go.jp

理念 相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します Practice medicine from the heart, create smiles every day

運営方針 LOVE and SMILES



今月号のトピックス

- ■診療科紹介 精神科科長 町野 彰彦医師 ………………… P1
- ■新任医師紹介 腎臓内科 京田 尚子医師 ……………… P2
- ■第4回 地域医療連携 表彰「よつばクリニック」河本経営企画室長…… P2

診療科紹介



精神科科長町野 彰彦

呉地区の皆さま、初めまして。7月1日付にて、呉医療センター・中国がんセンター精神科に科長として赴任いたしました町野彰彦(まちのあきひこ)と申します。どうかよろしくお願いいたします。

わたしが赴任した7月最初の週末に西日本豪雨災害が発生いたしました。 多くの被害や犠牲者を出した大災害となりましたが、皆さまはいかがお過ご しでしょうか。災害の犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、 被災された方々には心よりお見舞いを申し上げ、1日も早い復興をお祈りし ております。

わたし自身は被害には遭っておりませんが、病院内の歩き方も分からぬうちに緊急事態となってしまい、これは大変なところに来てしまったと思いました。呉医療センターは災害拠点病院であり、当院精神科は広島県災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assitance Team:DPAT)の一員

でもあります。この度の災害では広島県より早々に出動を打診されましたが、我々自身が当事者になってしまったことや、移動の方法が確保できないことから活動は断念いたしました。このような時にお役に立てず、地域の精神科病院の皆さまには大変申し訳なく思っております。

わたしの経歴を簡単にご紹介いたします。広島生まれの広島育ちです。北里大学卒業後、母校で精神科医としての研修を行い、横浜市立市民病院、相模台病院を経て、平成7年に広島大学精神科に入局いたしました。その後、三原病院、済生会広島病院でお世話になり、広島大学精神科に9年間在籍

いたしました。この間、多くの先生方にお世話になり、大変感謝しております。

この度、呉医療センターに赴任する事になり、広島大学精神科との大きな縁を感じております。広島大学精神科は初代小沼十寸穂教授が、その前身である広島県立医科大学精神神経科教室として開設されましたが、終戦後間もない頃であり、昭和30年に広島大学医学部に編入され昭和32年に広島市に付属病院が移転するまでは呉の阿賀分院として活動されておりました。昭和45年二代目更井啓介教授、平成2年三代目山脇成人教授、平成30年四代目岡本泰昌教授と教室の歴史は引き継がれておりますが、山脇教授は呉医療センターから教授に就任されておりますし、岡本教授も若き頃に呉医療センターで活躍しておられました。山脇先生が当院でリエゾン回診をされていた頃が我が国のコンサルテーションリエゾン精神医学の草創期と言っても過言ではなく、現在の発展につながっております。このように伝統ある呉医療センター精神科を担って行くこととなり身が引き締まる思いです。

私は、精神障害を持った人たちが、その障害のために正当な医療が受けられないことがないように、その障害のために基本的人権が損なわれることがないように、微力ながら努力して来たつもりです。これからも呉医療センターで精進して参りたいと存じます。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新任医師の紹介



腎臓内科 京田 尚子

専門

腎臓内科全般

資格等

趣味

スポーツ観戦

ご挨拶

呉地域の医療に少しでも貢献できるよう精心 して参りますので、よろしくお願いします。

地域医療連携に感謝

地域の先生方におかれましては、日頃より当院の地域医療連携業務にご協力いただきありがとうございます。

当院では、平成27年度より当院の地域医療連携事業に協力いただいている病院・医院の皆様へ感謝状と共に記念品を贈呈しています。

今年度は、急性期治療を終えた当センター患者さんが在宅に戻られる際の在宅支援連携病院としてご尽力いただいているよつばクリニックを訪問して、感謝状と記念品を贈呈いたしました(8月8日、写真)。



当センター谷山院長と私を含む地域連携室スタッフがよつばクリニック平賀院長ならびに病院職員の皆さんへ当方からの感謝の気持ちを伝えることができました。

今後も引き続き多くの病院・医院の皆様と交流を 持ち、感謝の気持ちを伝えたいと考えています。 より良い地域医療連携を目指して地域医療連携室ス タッフ一同は努力してまいります。今後ともよろし くお願い致します。

平成30年8月9日

呉医療センター・中国がんセンター 地域医療連携室長・経営企画室長 河本 泰宏

平成30年度 第2回 抗菌薬適正使用支援講演会

□ 時 平成30年 9月12日 (水) 18:30~

<mark>場 所</mark> 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター 1 ・ 2

<mark>演題および演者</mark> 「抗菌薬適正使用チームへの期待と課題」

広島大学病院感染症科教授 大毛 宏喜 先生

内科オープンカンファレンス

□ 時 平成30年 9月27日 (木) 19:00~

<mark>場 所</mark> 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター 1. 2

医長講義 内分泌糖尿病内科科長 久保田 益亘

症例 1:消化器内科医師 黒木 一峻

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日昼間8:30~17:150823-22-3111土・日および夜間17:15~8:300823-23-1020

呉心臓センター直通電話番号変更のお知らせ

呉心臓センターでは各医療機関様の医師と当院循環器専門医師が循環器疾患の救急対応を迅速かつ 適切におこなうために、直通電話を開設しております。

救急患者の受け入れ依頼、循環器疾患の相談を循環器疾患専門医がダイレクトに24時間対応させていただきます。

どうぞ、ご遠慮なくコールをお願いします。

この度、平成30年4月より直通番号が変わりましたのでご連絡いたします。

24時間対応 080-4146-4030

<u>なお、この電話は医療機関様と当院呉心臓センターとの連絡専用ですので、患者さんや出入りする</u> 業者の方にはお知らせいただかないようにご配慮をお願いいたします。

PETだより (No.38)

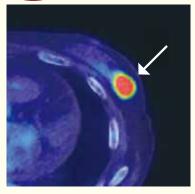
- ・乳癌シリーズの2回目です。
- ・乳癌においては時々、乳房近くの腋窩リンパ節に転移がみられます。
- ・PETで腋窩リンパ節転移へのFDGの集積頻度はそれ程高くはありません(感度は低い)。
- ・このためFDGの集積がみられなくても、腋窩リンパ節転移の可能性があるため、センチネルリン パ節生検を行わなくてはなりません。
- ・一方腋窩リンパ節にFDGの集積がみられた場合は、かなりの確率で転移が疑われます(特異度は 高い)。

予約は当院の地域連携室を通してお願い致します。

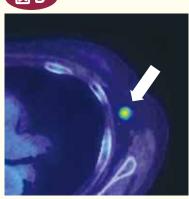
放射線診断科科長 豊田 尚之

図説明 図A











60歳代女性、浸潤性乳管癌。

図A:PET-CT横断像。左乳房C領域にSUVmax11.2の集積を認め乳癌が疑われる(白細矢

図B:PET-CT横断像。やや頭側の左腋窩の小リンパ節にもSUVmax2.5の集積がみられ、 リンパ節転移が疑われる(白太矢印)。手術後にリンパ節転移が確認された。

がんサロンのご案内

場 所:外来棟4階 第3研修室 時:9月14日(金) 内容: 「血液がん治療の進歩 14:00~15:00

オストメイトサロンのご案内

時:9月27日(木) 場 所:外来棟4階 第3研修室 $14:00\sim15:00$ 内容: 「ストーマトラブルを起こさない

排泄のコントロールについてし

平成30年度 第2回 抗菌薬適正使用支援講演会

[日時] 平成30年9月12日(水) 18時30分~

【会場】 **呉医療センター・中国がんセンター**外来管理棟 4階 地域医療研修センター1・2

【講演】

座長: 呉医療センター・中国がんセンター 感染症科科長 清水 亘 先生

「抗菌薬適正使用チームへの期待と課題」

演者:広島大学病院感染症科教授 大毛 宏喜 先生



1990年頃のMRSAの多発をきっかけに、1996年の「院内感染防止対策加算」など、政府は様々な加算により感染対策を促してきた、今回の抗菌薬適正使用加算がどのような変化をもたらすのか、各医療機関では手探りの状態である。加算に振り回されるのではなく、何が患者にとって大切かを考え、能動的に活動することが求められている。

当日は、ご施設、ご芳名の記録をお願い申し上げます。ご記入いただきましたご施設、ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。何卒ご協力をお願い賜りますようお願い申し上げます。





向合で 〒737-0023 呉市青山町3番1号 独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター 管理課:金子 TEL (0823-22-3111)

第100回 がみサロン人のおりらせ

内容血液がん治療の進歩

新薬の登場により変わりつつある 血液がんの治療について解説します。

講師 血液内科科長 伊藤琢生

→ 中成30年 9月 14日(金)

14:00 ~ 15:00

場所 呉医療センター・中国がんセンター

外来棟 4階

地域医療連携研修センター第3

※ 申し込み不要 院内外問わず、どなたでも参加自由です。



くお問い合わせ先> 呉医療センター・中国がんセンター がん相談支援センター ☎ 0823-24-6358

平日 9時~16時

第19回 「オストメイトサロン」 のお知らせ

※オストメイトとは ストーマ(人工肛門・人工膀胱) を持っている方のことをいいます。

内容 ストーマトラブルを起こさない 排泄のコントロールについて

日時 平成30年9月27日(木) 14:00 ~ 15:00

場所 呉医療センター・中国がんセンター 外来棟 4階 地域医療研修センター第3

※ 申し込み不要 院内外問わず、どなたでも参加自由です。

くお問い合わせ先> 呉医療センター・中国がんセンター がん相談支援センター 25 0823-24-6358 平日 9時~16時

9月の時間外 研修会/勉強会







甲棒余名		世	حفلد	- 上	響 智 ※後移馬	相当部署	文 是 和	本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本
コメディカルのお薬勉強会	9月10日	<u> </u>	18:00~19:00	11階十ンファレンスルー/	呉医療センター・中国がんセンター	海 全	配	看護田田帝師
「静脈血栓について」		<u> </u>			薬剤部薬剤師 伊東 美弥子	K	回け	リメディカル
第4回 TCSA					呉医療センター・中国がんセンター			
「救急領域における栄養管理」	9月10日	(H)	18:00~19:30	地域研修センター1・2	救命救急センター	栄養管理室	0	全職種
「PEG造設方法について/PEGカテーテルの種類について」					消化器内科			
法定研修		=======================================	9		広島大学病院感染症科教授		0	***
第2回 「抗菌薬適正使用支援講演会」	9月12日 6	¥	18:30 ~	岩) 全参わンター1・2	太毛 宏喜 先生	地域連携室・管埋課		全職 種
院内内視鏡セミナー		(47 A 47 A 47 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	呉医療センター・中国がんセンター		佐	初期研修医
「内視鏡の看護・介助」	9.H 14.H	(H)	00:8:00~18:00	岩域を零れンター1・2	消化器内視鏡技師 金井 干佐美	消化器內科	中中	有護師コメディカル
BLS(一次心肺蘇生法)						百 千 7		基础
「CPR(心肺蘇生)」 「AED(自動体外式除細動機)」	9月25日	<u>¥</u>	17:45~19:05	呉医療技術研修センター	呉医療センター 蘇生教育チーム	≒医療センター 蘇生教育チーム	派向 スナ	米事前申込要 1919年:技術研修センター 高浜 1919年:技術研修センター 高浜
					呉医療センター・中国がんセンター			
内科オープンカンファレンス	9月27日	€	19:00~20:00	地域研修センター1・2	医長講義 内分泌糖尿病内科科長 久保田 益亘	内科	0	医師(初期研修医含む)
					症例 1. 消化器内科医師 黒木 一峻			



